

平成 24 年 2 月 28 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱東京 UFJ 銀行
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」
平成 24 年度奨学金プログラムの募集開始について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(取締役社長 永易 克典^{ながやす かつのり}、以下 MUFG)、株式会社三菱東京 UFJ 銀行(頭取 永易 克典^{ながやす かつのり})および公益社団法人日本ユネスコ協会連盟(会長 松田 昌士^{まつだ まさたけ})が、平成 23 年 4 月 28 日付『「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」の創設について』で公表いたしました奨学金プログラムの平成 24 年度募集を、本日開始いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

今後とも、MUFG、三菱東京 UFJ 銀行および日本ユネスコ協会連盟は、被災地の支援に継続的に取り組んでまいります。

1. 奨学金名	「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」奨学金プログラム
2. 対象者	平成 23 年 3 月 11 日時点で災害救助法適用地域(※)に居住していた両親または父母のいずれかが東日本大震災により死亡・行方不明となった、 平成 24 年 4 月に小学校に入学する児童 。 ※ 岩手県、宮城県、福島県、青森県、茨城県、栃木県および千葉県です。 東京都は大量に帰宅困難者が発生したことが事由のため、本奨学金の対象外となります。
3. 給付奨学金	開始時に一時金として 10 万円を給付し、小学校・中学校・高等学校在学期間中に月額 2 万円を給付します。なお、本奨学金は返還の必要はありません。
4. 給付期間	給付開始時から高等学校卒業時まで(上限は満 20 歳の誕生日月までとします)。 奨学金は本年 4 月分より給付します。
5. 応募方法	応募児童の保護者が、児童が入学した小学校に応募書類を提出してください。
6. 必要書類	(1) 戸籍謄本: 児童本人の戸籍謄本(同一戸籍の方全ての記載があるもの) (2) 住民票: 同居家族全員の記載のあるもの (3) 奨学金振込先金融機関通帳のコピー(口座番号等の確認のため)
7. 応募期間	平成 24 年 4 月 20 日(金)までに児童が入学した小学校に提出してください。
8. 応募関係書類	岩手県、宮城県および福島県の各小学校には、各県教育委員会を通じて書類を送付していますので、入学日以降、各小学校にお問い合わせください。 その他都道府県在住の方は、11.お問い合わせ先までご連絡ください。 なお、以下のホームページからダウンロードすることもできます。 (http://www.unesco-scholarship.jp)
9. 結果通知	平成 24 年 5 月下旬より、児童本人および児童が在籍する学校へお知らせします。
10. 受給口座名義	原則として保護者名義の口座となります。なお、受給は 3 ヶ月毎となります。
11. お問い合わせ先	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 『MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金担当』 03-5424-1121

- ・ご申請内容によっては、ご希望に沿いかねる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・平成 25 年および平成 26 年の各 4 月に小学校入学予定の幼児を対象とする募集は、当該年に改めて行います。
- ・現在、小学校・中学校・高等学校に在籍し、これまで本奨学金プログラムに応募していない児童・生徒で新たに奨学金給付を希望する場合は、上記お問い合わせ先までご連絡ください。

【ご参考】

「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」各種プログラムの活動について

1. 奨学金プログラム

平成 24 年 2 月 28 日現在、「奨学金プログラム」の給付対象者は 1,233 名となっております。

2. 心豊かな成長プログラム

(1) 応援交流会

平成 23 年 8 月から 12 月にかけて、劇団四季による「東北特別招待公演」の観劇、「小岩井農場まきば園」でのレクリエーション、日本プロサッカー選手会主催の「クリスマス・チャリティーサッカー2011」の観戦を通じて、奨学生および保護者約 100 名と交流を図りました。

(2) 震災復興研修会

被災地の教職員を対象に「震災後の教育活動における子ども向け心のケア」研修を、平成 23 年 8 月に仙台市内で開催しました。当日はユネスコスクールの教職員約 50 名が参加しました。

3. 学校花壇再生プログラム

岩手県・宮城県・福島県で計 6 回「学校花壇再生プログラム」を実施しました。また、花苗の寄贈を 30 校に対して実施し、合計約 10,000 株の花苗を被災地の小中学校に届けました。今後も継続的に実施します。

4. ボランティア活動プログラム

上記プログラムの開催および運営に際しては、三菱東京 UFJ 銀行および MUFG グループ各社の役職員約 250 名がボランティアとして参加しました。



(応援交流会:岩手県)



(応援交流会:宮城県)



(学校花壇再生:福島県)

以上